

あの頃の津山

出征兵士の見送り(戦時中)

写真提供・江見写真館



出征兵士などを乗せて、津山駅から出発する列車とそれを見送る人びとの様子を写した写真です。左端に、昭和11年に完成した扇形機関車庫の一部が写っているのも、それ以降に撮られたものと思われまます。

この頃の日本は、昭和6年に発生した満州事変に始まり、日中戦争や太平洋戦争など、昭和20年8月の終戦を迎えるまで、長く厳しい戦争の時代を迎えていました。

戦火が拡大するにつれ、召集される兵士の数は増えていきました。兵士が出征する度に、地元の町や村、学校など地域の人が総出で、日の丸の小旗を振り、「祝出征〇〇君」などと書かれたのぼりを立て、兵士を見送っていました。

写真右側の線路沿いには多くの人びとが並び、出征する兵士を見送っています。見送られる人々たちも列車の窓から日の丸の小旗を振って、それに応じています。当時、多くの若者たちが地元の人に見送られ、次つぎと戦地に赴き、尊い命を落としていきました。今から70年程前の光景です。



現在のJ R津山駅のホーム

このコーナーに掲載する懐かしい津山の写真を募集しています

関津山郷土博物館

☎ 22・4567

つばき 編集室

ファストフードのポテトは、あまり量が食べられなかったけど、なぜか最近では食べられるようになったな。…もぐもぐ。おいしい。…もぐもぐ。おいしい。…もぐもぐ。…。食べられなかったものが食べられるようになって、体重は増えてないかな。計ってみよう。…なるほど。体は正直だな…。(´▽`)

きらめく津山人で日下さん取材しました。ギターを始めようと挫折したわたしには、楽器を演奏し、歌を歌う人がうらやましいです。歌うことは誰でもできる。上手下手なんて関係ない。という日下さんの言葉に歌が苦手なわたしは救われました。音痴でもみんなを笑顔にできる。頑張ろう。(雨)

宮古島市との姉妹都市縁組50周年記念事業の「なかよしスタンプラリー」でスタンプシールを集めています。市内の9店舗で、41品目が販売されています。全店舗で買い物をしようと思ひ、市内を巡っていますが、全商品の購入は、わたしの懐具合が寂しくて、できそうにもありません。残念。(修)

今月の表紙

7月12日
楽しく涼む噴水シャワー
グリーンヒルズ津山

編集・発行 (毎月10日発行)

津山市総合企画部秘書広報室(市役所3階)〒708-8501 岡山県津山市山北520番地
☎0868-32-2029 ☎0868-32-2152 ✉kouhou@city.tsuyama.okayama.jp

☆広報つやまはホームページで閲覧できます

<http://www.city.tsuyama.lg.jp/>



津山市ホームページPC版

☆秘書広報室のフェイスブックはこちら
<http://www.facebook.com/city.tsuyama.kouhou>



秘書広報室フェイスブック



広報つやまは、環境保護のため再生紙と大豆油インキを使用しています。読み終えた後はリサイクル(雑誌)にご協力ください